

令和2年12月22日

健康状態チェックシート フォームの入力情報漏洩について（お詫びとご報告）

東北シクロクロス協会
会長 菅田 純也

12月20日の東北シクロクロスシリーズ第2戦 福島空港ラウンドにご来場いただきまして誠に有難うございました。

この度、12月20日の福島空港ラウンドで新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者、同行者、大会スタッフ、観戦者の方に対する「健康状態チェックシート」のフォームに設定ミスがあり、公開日の12月18日12時頃から同月20日6時頃までの間に、フォーム送信者が他のフォーム送信者の入力内容を閲覧できる状態になっていたことが参加者からのご指摘で判明しました。本協会としましては、回答方法の簡素化を図るために電子化を進めておりましたが、結果として皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

以下に事実経過と対応、原因の調査並びに再発防止に向けた取り組みの方策についてご説明させていただきます。ご意見ご質問等ございましたら、問い合わせお寄せくださいますようお願い致します。

1. 事実経過と対応

健康状態チェックシートの案内は、12月18日11時過ぎに公式サイトへ掲載し、Facebook ページおよびTwitterにて情報配信されました。1人目のフォーム内容送信は同日11時49分、2人目は12時8分であり、その後フォーム送信設定変更が完了した同月20日の6時頃までの間、入力した255名が相互に入力内容を閲覧できる状態になっておりました。

漏洩された可能性がある情報は、来場種別、メールアドレス、氏名、保護者氏名、住所、電話番号、生年月日、大会前14間における健康状態確認該当項目、大会前日の体温、検温をした日時及び誓約内容となります。

漏洩の可能性を発見した大会参加者から、当協会のFacebookメッセージ、Twitterダイレクトメッセージ、公式サイト問い合わせメールにてご指摘を頂きました。その後、当該情報を当協会会長が20日5時37分に確認し、直ちに参加者に返信をして、同日5時52分までに設定を変更し、更に回答済みの内容を全て削除いたしました。なお、閲覧できる内容はフォーム送信を完了した者しか確認することは出来ない状態であり、現在までに二次的被害の報告は受けておりません。

2. 原因の調査

当協会において調査した結果、フォーム（Google フォーム）の設定（全般）において、回答者が行える操作のうち、「概要グラフとテキストの回答を表示」のチェックが入っていたことが直接の原因であると判明いたしました。フォームの項目内容については慎重に検討を行った一方で、入力送信の事前テストと設定項目の確認を行わなかったことが今回の事態につながった主たる要因であると考えられます。

3. 再発防止に向けた取り組みの方策

今後も各大会において新型コロナウイルスによる影響が落ち着くまでは、ご来場いただく皆様の安全を第一に考え健康状態チェックシートは必要であると考えます。しかしながら、管理者として情報セキュリティへの意識と技術の向上に努め、皆様の情報管理の徹底を図ることを目的とし、

同様の過誤の再発防止のために当協会では以下の対策を行うことといたします。

- ・申込フォーム作成の担当者（管理権限を持つ当協会理事）を複数名配置しダブルチェックを行う。
- ・公開前にテスト送信を行い、「概要グラフとテキストの回答を表示」のチェックが外れていることを含め、協会理事が設定項目全般の確認をする。
- ・急な対応事案が発生した場合に備えて、協会理事の緊急連絡体制を整備する。

以上の通り、当協会では協会主催大会へご参加くださる参加者やご来場いただく皆様にご安心いただけるよう、今後もよりいっそう努めていく所存ですので、ご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、本件についてのご意見やお問い合わせ等につきましては、以下の窓口（協会会長）までメールにてお送り下さいますようお願い申し上げます。

E-mail : tohoku.cx.project@gmail.com